

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		野菜専作農家の育成、大規模な雇用創出						
指標名	大規模園芸団地の整備状況						指標の種類	
指標式	大規模園芸団地の整備着手箇所数 / 大規模園芸団地の整備計画策定箇所数						成果指標 業績指標	
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
目標a			0	6	2			
実績b		0	データ等の出典					
東北	大規模園芸団地の整備着手実績							
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 04月								

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度	
目標a									
実績b			データ等の出典						
東北									
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
<p>現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性</p> <p>本県では、えだまめやねぎなど、品目を絞り込んだ生産拡大対策を推進しているが、総じて個々の経営規模が小さいことや、規模拡大する農家がいる一方でリタイアする農家もいることから、産出額は横ばいとなっている。このため、経営の規模拡大と産地育成を強力に進める本事業の必要性は高い。</p>	
<p>住民ニーズに照らした事業の必要性</p> <p>産出額の向上と野菜専作農家の育成を図り、農家所得の向上を図るためには、従来の手法とは違った施策を推進する必要がある、大規模な園芸団地の整備を求める農家のニーズに照らして妥当である。</p>	
<p>事業の県関与の必要性</p> <p>法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの</p>	
<p>従来の手法にとらわれず、新たな仕組みでスピード感を持って取り組む必要がある、県が主体的な役割と応分の負担を担う必要がある。</p>	

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
	重点事業 その他